

THE GUIDE OF KOIWA FARM

# 小岩井農場案内

岩 手 県 雫 石

一八九一年 創業

一〇〇年、おんなじこの牛舎。  
一二〇年、まいにち乳しぼり。



整然とした森、手入れされた牧草地、  
古い牛舎と草を食む牛たち。  
小岩井農場に在るすべては、おいしい牛乳をつくるため。

不毛の荒野から豊かな農場を拓いたルーツ。  
百年前の木造の建物を今なお使い継ぐ生産現場。  
牛たちは農場産の草を食み、  
その排泄物は堆肥や電気に生まれ変わります。  
農場の営みと歴史を紹介し、  
持続可能な社会づくりのヒントを探す旅へいざないます。



#### 題字について

明治36(1903)年に発行された『小岩井農場案内』から表紙の題字を再現しました。農場創業から約10年後、今からおおよそ120年前の資料です。

そこには、牛たちと牛舎、雄大な岩手山が描かれ、今へと続く農場の姿が描かれています。

その一方、木々に注目して見るとわずかな林がところどころ描かれるのみで、緑濃い森は無かった様子がうかがえます。





## 不毛の原野から緑の大地へ。 これからも続いていく、農場の営み。

明治時代、岩手山の麓は木がほとんど生えない痩せた荒地でした。  
130年の営みに育まれた山林と草地。循環型、持続型を事業の基軸とした小岩井農場へようこそ。



### 探究のヒント

#### 不毛の原野から大地の美術館へ 1本の苗木を植えて育んだ森

見渡す荒野に石灰を撒き、暗渠を巡らせた土づくりに数十年を要し、植林を始めて百有余年。小岩井農場に広がる美しい大自然は岩手山南麓の厳しい気候にあわせ、先人たちがコツコツ作り上げたものです。

#### 苗木を植えて育てた「100年の森」は 人と森の共生の証し

環境への配慮と持続可能な森林経営を目指して、100年単位に及び計画的な山林事業を実施しています。今日出荷する木材は100年前に植えた苗木、今日植えた苗木は100年後に出荷する木材です。

#### クリーンなエネルギー、 畜産バイオマスで循環型社会へ

約2,000頭分の牛の排泄物と食品残さを処理し、メタンガス利用により発電しています。生産された堆肥や液肥は農場の耕地に還元。土づくり、草づくり、牛づくり、堆肥づくりにて循環型社会を実践しています。

※発電・堆肥化プラントは（株）バイオマスパワーしずくしが運営・管理しています。



#### 広大な原野を 豊かな農地にしたい

小岩井農場は1891（明治24）年の創業。共同創業者である小野義真、岩崎彌之助、井上勝の3人の頭文字から「小岩井」と命名されました。いわば、官民超えたパートナーシップにより実現した新規農事業として立ち上がったのが小岩井農場です。

明治時代の発展を支えた3人の功績とは？ 大農場開設の夢を描いた初代農場主・井上勝の思いとは？ 農場をめぐるガイドツアーでご紹介します。

#### ツアーポイント



小岩井農場創業の物語は、日本の近代化の歴史を感じられるエピソードに満ちています。1899（明治32）年から農場を継承した三菱第三代当主・岩崎久彌による経営方針は今も引き継がれています。また、その時代に建てられた農場施設をぜひご覧ください。



小岩井農場  
育ての親  
岩崎久彌



## 100年前に未来を見据えた牛舎は いまでも現役、国の重要文化財。

明治末期から昭和初期、「30年先も恥ずかしくない建物を」とつくられた牛舎たち。  
その木造の建物は文化財に指定され、いまでも現役で使われています。



### 探究のヒント

#### 国指定重要文化財 「小岩井農場施設」全21棟

明治末期から昭和初期の建築物、本部事務所や倉庫、牛舎など21棟が国の重要文化財に指定されています。その多くが現役で使われる、いわば生きた文化財です。

#### 農場施設としては日本唯一 現役の国指定重要文化財

酪農に関する国指定重要文化財は、日本全国でも札幌にある北海道大学農学部第二農場と小岩井農場の2カ所だけ。しかもその建物が今も現役で使われるのは日本で唯一、小岩井農場の施設しかありません。

#### 優秀な牛が入る 一号牛舎（いちごうぎゅうしゃ）

1934（昭和9）年に建てられた搾乳牛舎。当時最新鋭のスタンション式（首かせを設置し牛を1頭ずつつないで管理する方法）です。農場の中でも優秀な68頭が暮らし、建物内部も見学できます。

#### ツアーポイント



今では再現できない手づくりのガラスや日本最古のレンガ造りサイロ、明治から昭和への変遷が見られるトウモロコシの乾燥保管小屋など、発見がいっぱいの農場施設へは皆様のバスでめぐるガイドツアーでご案内します。







## 先祖代々、農場生まれの牛たちは 農場でとれたエサで育つ。

牛たちは、お母さんも、そのまたお母さんもずっと小岩井農場生まれ。  
牧草もトウモロコシも農場内で育てたエサを食べています。

外国の牛を輸入して育ててきた



子牛も外で運動して健康に育つ



大正以降ホルスタイン種が主流に

小岩井農場のエサと岩手山  
麓の水で育った牛たちから  
の恵み「小岩井農場育ち」

大人気のソフトクリーム

鶴ヶ台牛舎の見学ができ  
るのは団体ツアーだけ

自社の製乳工場



### 探究のヒント

#### 明治時代に西洋から渡ってきた牛たち 「畜主耕従」の精神が息づく

明治期に輸入した種牛の改良を続け、優良な牛を育てる小岩井農場。岩崎久彌の掲げた「畜主耕従」の方針に基づき、自家生産をした乳牛を育てています。そうして、130年間にわたって、小岩井流の酪農を持続しています。

#### 土づくり・草づくり・牛づくり 安全、安心な生乳づくり

小岩井農場の牛たちが食べるエサは農場内の圃場で育てた牧草やトウモロコシが中心です。安全安心で高品質な生乳を生産しています。さらに農場産飼料は、CO<sub>2</sub>排出削減や生乳の安定供給にも役立ちます。

#### 農場で搾った生乳は農場内工場へ ここでしか味わえない牛乳やソフトクリーム

農場で搾乳した新鮮な生乳は牛舎にほど近い製乳工場へ。生乳本来のおいしさを生かした低温殺菌牛乳やソフトクリームなどに加工します。牛が育った農場で、岩手山を眺めながら味わう限定牛乳は格別です。

#### ツアーポイント



動物たちと距離をとっていただくのは防疫衛生に細心の注意を払っているから。ホルスタイン牛や施設の見学は生産業務を優先し、また感染症を防ぐため、牛や羊との触れ合いイベントは行っておりません。



グループ向け  
小岩井農場観光

バス1台に  
ガイド1人派遣



## 農場めぐりバスツアー

非公開現場を見られる

持続可能な運営を紹介

所要時間  
60分～

お客様バス

農場ガイドが同乗

- 料金／ガイド1人につき 15,000円
- 対応台数／1～4台

※バスツアーですから、天候に左右されません。(警報が発令される悪天候は除きます)  
※酪農施設の見学では防疫上、消毒施設を通過し車両に消毒を噴霧します。  
※バスツアーのルートは生産現場の事情等により変更する場合があります。  
※企業研修や修学旅行など、お客様の目的に応じたプランをご提案します。

3 鶴ヶ台牛舎

牛の行動欲求に基づいたストレスを与えない飼育ができる小岩井農場最新鋭の牛舎。生産性を上げる工夫を紹介します。



START  
1 まきば園

バス駐車場にて農場ガイドが同乗し、バスツアーのスタートです。



2 農場立  
小学校跡

明治37年に敷地内に設立された農場私立「小岩井尋常小学校」の跡地です。

小岩井農場



4 バイオマス発電施設

家畜の排泄物などからメタンガスを発生させ、発電する施設です。その過程で発生する液肥は農場で利用し、持続型・循環型農業を実践しています。



5 上丸牛舎群

約300頭の牛が暮らす上丸牛舎は小岩井農場の酪農発祥の地。5棟の現役の牛舎、2基のサイロなど9棟の建物が国の重要文化財に指定されています。



GOAL





まきば園に隣接する上丸牛舎エリアは、まきば園入場料のみで見学できます。班別行動など自己学習の場にご活用ください。

●オプション/¥15,000にてガイドによるご案内も承ります(ガイド1名につき30名様まで)

## START まきば園

まきば園で上丸チケットを受け取ります。

## 1 入場ゲート

上丸牛舎正面のゲートからご入場ください。

## 2 看板前

「小岩井農場」の木板の前で記念写真を撮ろう! 日本最古のレンガサイロと岩手山を眺めます。



## 三号牛舎 3

三号牛舎では子牛たちが暮らします。午前中なら運動場の牛たちに会えるかも。



## 4 案内板

国の重要文化財には案内板があり、自己学習にもぴったりです。



## 5 一号牛舎

見学所から小岩井自慢のホルスタインをご覧ください。



## 6 資料館

農場の歴史や営みを紹介する小岩井農場資料館にもお立ち寄りください。

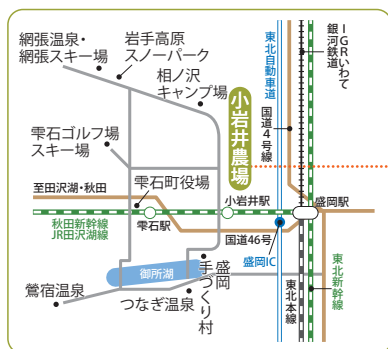


**GOAL**

バター作り体験

小岩井農場収穫体験

など団体プログラムの詳細はこちら



### アクセス

#### 貸し切りバスの場合

- ・東北自動車道 盛岡ICより 約15分
- ・盛岡駅より 約30分
- ・岩手花巻空港より (東北自動車道) 約50分

#### まきば園入場料金

	一般	団体 ※20名以上
大人 (中学生以上)	1,000円	800円
子ども (5才~小学生)	500円	400円

### 小岩井農場まきば園

〒020-0507  
岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1  
019-692-4321  
9:00~16:00(平日) 9:00~17:00(土日祝)  
[www.koiwai.co.jp](http://www.koiwai.co.jp)

